

JAと地域の概況

● JAみやぎ仙南管内について

【位置】

西は奥羽山脈（蔵王標高1,841 m）、東は阿武隈山系、南は福島県に接する2市7町（白石市、角田市、柴田町、大河原町、村田町、川崎町、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町）からなる区域です。

その総土地面積は155,140 haで、宮城県総面積の21.3%を占めておりますが、その68%は林野となっています。

【地形】

地形は、標高7~20 mの平坦地（角田市、大河原町、村田町、柴田町）、標高20~100 mの中位置（白石市、蔵王町、丸森町）と、標高200 m以上の高位置（七ヶ宿町、川崎町）の三つの区域に大別されます。西部の奥羽山脈から連なる丘陵地帯が東部に向かって傾斜しており、東部及び南部は阿武隈山地に囲まれ、それぞれの丘陵地帯を縫って南西部から阿武隈川、北東部から白石川が流れています。この様に仙南地域には平野から丘陵地帯、山脈まで、起伏に富む多様な地形が広がっています。

耕地面積は約1万3,600 ha、耕地率は平均18%で、地域的（市、町ごと）には1.0~24%と格差がみられますが、稲作を中心に園芸・畜産を加えた複合経営農業で、みやぎ生協等との産消提携活動を展開しております。

当JAは、生産者と消費者の提携活動（産消提携）を基本に、仙南地区の農業の展望と農業の未来を切り拓くべく、真に消費者と生産者が一体となった「食と農を守る」活動を展開しております。

● シンボルマーク



農業の源である緑・円を配置し、中央の白い筆の流れは管内を流れる「白石川」や「阿武隈川」をイメージしており、かたちは仙南「Sennan」の「S」で澄みきった水の流れを表現しています。また、土台を支える暖かな橙色は、地域を見守る蔵王山麓の山なみをイメージしており、かたちはみやぎ「Miyagi」の「M」で地域性とJAみやぎ仙南の大きさを表現しています。

JAみやぎ仙南かかわるすべての人々が、心のやすらぎ・やさしさ・新鮮さを提供し、親しみのあるJAに発展していく願いが込められています。